

上級学年での 教育に備えて

英語を第2言語とする
学生とご両親のための
情報

はじめに

高等教育の資格取得を考慮する際、ビクトリア州の学生には高等教育入学資格である Victorian Certificate of Education (VCE)と Victorian Certificate of Applied Learning (VCAL)という2つの選択肢があります。学生は、Vocational Education and Training (VET)を受講し、VCEまたはVCALの一環として、School Based New Apprenticeships(学校ベースの新見習い制度)を受講することもできます。

VCE

学生と教師がVCEと言うときには、Victorian Certificate of Education(ビクトリア州高校卒業資格)のことを指しています。VCEは、11年生と12年生での履修内容に対して与えられる資格です。これは、学生がセカンダリ・スクールでの最終学年を無事に修了したことを示します。

VCEの学習は通常、2年間で終了しますが、それ以上かかる場合もあります。英語が第2言語である学生によっては、英語力を伸ばす時間がとれるように、3年間かけてVCEの学習を終了させるほうが楽にできると感じます。これが適切な場合には、学校側が学生に勧めます。

学生とご両親がVCEの必要条件と課題の評価方法について理解することができれば、役に立つでしょう。

VCEの構成

学習

VCEでは、学生は通常各学年度に5または6科目を選択します。これらの科目は学科(studies)と呼ばれます。ビクトリア州立校全体にわたり、心理学、ビジネス管理、演劇などを含む、幅広いVCE学科を受講できます。実施する学科の範囲は、個々の学校で決定されます。

ユニット

すべてではありませんが、大多数のVCE学科は、4つのユニットから構成されています。1つのユニットは、1セメスタ(半年)にわたって履修します。ユニット1と2は通常、11年生で履修し、単一ユニットとして履修することも可能です。ユニット3と4は通常12年生で履修しますが、これらは連続して履修しなければなりません。学生は、VCEコースの一環として必ずしも全ユニットを修了する必要はありませんが、VCEが授与されるには、最低でも16ユニットで「S」(合格)の成績を取めなければなりません。

必須学科とユニット

学生が自身のVCEコースを構成する学科とユニットを選択する際、各コースで満たされなければならない条件がいくつかあります。こうした条件を満たすことができるように、教師が学生の学科・ユニット選択の指導を行います。

VCEでは英語は必須科目であり、学生特有のニーズに最適な英語ユニットを選択できるように、教師が援助します。

VCEの修了

VCEを修了するには、学生は学科の16ユニットで合格しなくてはなりません。最低条件の16ユニットには以下が含まれていなければなりません。

- 英語3ユニット
- 英語以外で、ユニット3と4を連続して履修した学科3つ

学科とユニットの選択

学科を選択する際、学生は将来の進学および就職の予定を考慮する必要があります。多数の大学/専門学校では、VCEの一部として特定の学科を修了したことを入学条件にしています。学生が職業または訓練コースへの進学を希望している場合には、これをVCEプログラムに含めることができます。

大学の学科をVCEで履修

学生は、公開講座を通じて、大学1年目の科目をVCE学科に追加できます。公開講座は、ずば抜けた成績を収めている成績優秀者を対象としています。

学生は、このプログラムに参加するように学校側から勧められます。学校長は、参加する学生が大学により提供されるガイドラインを満たしていることを証明する必要があります。

VCE公開講座学科はVCEのユニットではなく、VCEの修了に必要とされる16科目の一部とはみなされないことに注意しなければなりません。

ただし、学生が承認済みの公開講座学科を履修する場合、6番目のVCE学科の代わりに、学生のENTERスコアに加算できることもある、とVTACは通知しています。

公開講座学科に関する詳細については、**Victorian Curriculum and Assessment Authority** (VCAA:ビクトリア州カリキュラムおよび評価機関)のウェブサイト(www.vcaa.vic.edu.au)をご覧ください。

英語/ 第2言語としての英語

英語/第2言語としての英語は、ESL学習者がVCEを修了するために役立つ、VCAAによって提供される重要な科目です。受講資格のある学生は通常、必須の英語科目の構成要素として英語/ESLユニットを選択します。

以下の条件の両方を満たす学生は、ESLの資格を有します。

- オーストラリアまたは他の英語圏での居住期間が7年を超えないか、または1度に数ヶ月間オーストラリアを離れた場合には7年に相当する期間を超えない。
- 教育の主要言語が英語であった期間が、合計で7年間を超えない。

これらの条件を満たさない学生でも、ESL受講資格が得られる場合があります。これらの例外は、教育にかなりの中断があった学生が対象となります。

詳細については、VCAAまでお電話(9651 4300)いただくかまたはVCAAウェブサイト <http://www.vcaa.vic.edu.au> をご覧ください。

英語/ESLコースは、英語学科に大変似ています。英語/ESLユニット1と2(11年生)の学習成果で学生が完成させる課題は、英語学科の学習成果と同じですが、ユニット3とユニット4(12年生)ではいくらかの相違があります。相違点は以下のとおりです。

- ESLの学生は、3種類の選択テキスト(英語学科では4種類)を読んで学習する
- 完成させる課題にいくらか違いがある
- 試験問題が違う

12年生でESL/英語を履修する利点は、英語を第2言語とする学生にとって、英語を母国語とする学生ではなく、英語を第2言語とする学生が競争相手となることです。VCEスコアの総合点を計算する際、ESLの成績は他の英語科目の成績と同等に評価されます。

ESL学習者を多数抱える一部の学校では、特別なVCE ESLクラスを実施できます。ただし、これらの科目は類似しているので、ESL学習者は、英語学科を履修している学生と一緒に英語/ESLユニット3と4を修了することもできます。

VCE の評価方法

VCEの評価には、校内評価と外部試験という2つの主要な要素があります。学年末試験に基づいてすべての評価を受けることに慣れている学生は、VCEの勉強ではやり方が異なることに気付きます。課題は年間を通じて評価され、学生は外部試験のほかに多様な課題を完成させなければなりません。これは、学年度を通じてうまく計画立てて、着実に勉強しなければならないことを意味します。

学習成果

学習成果は、VCE学科の各ユニットごとに指定されています。「S」はユニットの学習成果を十分に達成したことを示します。学生がこれらの学習成果を達成したかどうかは、学校が判断します。

ユニット3と4

ユニット3と4の履修中、学生は校内評価のコースワークを完成させ、外部試験を受験します。

校内評価のコースワーク

各ユニットの学習予定により、取り扱うコースワークとユニットを満足行く結果で終了したことを示す学習成果が指定されています。

これらの課題は：

- 定期的な指導および学習プログラムの一部です。
- 宿題もありますが、主に授業中に完成させます。
- 一定の期限内に終わらせることになっています。

校内評価対象の課題

少数の改訂学科には、校内評価課題(School Assessed Tasks: SAT)があります。これらの拡張課題は、ユニット3と4における学生の成果を校内で評価するものです。これらは、VCAAの指定に従って、教師が規定課題を設定し、採点します。アート、メディア、スタジオ・アート、視覚コミュニケーションとデザインでは、学生の課題を取めたフォリオが校内評価課題となります。食品と技術、システムと技術、および技術の設計という技術学科では、学生は校内評価課題として主要作品を提出します。

外部試験

科目のユニット3と4を履修中の学生は、コースワークのほかに外部試験を受験します。外部試験の成績は、A+ からEで評価されます。これらの試験は、校外の試験官によって採点されます。

大多数の試験は年度末に実施されますが、一部の学科では、年度の間と年度末の両方に試験が行われます。

Equivalent National Tertiary Entrance Rating (ENTER) スコア

VCE評価が終了すると、各学生の試験結果からENTERスコアが計算されます。このスコアは、大学/専門学校への入学枠に学生を割り当てるために使用されます。

学生がコースワークの評価課題を完了せず、外部試験を受験しなかった場合は評価が行われないので、ENTERスコアが出ません。

GATとは？

GAT(General Achievement Test)は、一般学力テストです。学科のユニット3と4を履修中のVCE学生は全員、このテストを受験する必要があります。このテストでは、以下の分野で学生の一般的な知識と能力が評価されます。

- 書面でのコミュニケーション能力
- 数学、科学および技術
- 人文科学、アート、社会科学

学生は、2つの文章作成課題と多項式選択問題に回答する必要があります。これは3時間のテストで、通常年度の中間に実施されます。学生はGATテストに向けて準備する必要はありません。VCAAはこのテストを使って全学校の校内評価の採点水準を比較し、必要であればこれを調整して全学校が同じ基準で採点するようにします。また、試験採点のチェックをした証拠として残します。

校内評価の見直しと調整

あらゆる形式の校内評価に対し、VCAAでは州内の全学校で同じ水準の採点が行われるようにするための手順を実施しています。

コースワーク評価を行う学科では、各学校のコースワーク・スコアを統計的に調整して、その学校でその学科を履修している学生の試験得点とGATスコアの総合点の水準と分布を釣り合わせます。

校内評価課題については、GATを使用して各校の評価をチェックします。学科の校内評価と学校のGAT結果が大幅に食い違う場合、VCAAはその学科の校内評価を見直します。

成績の報告

年度末に、VCAAはVCEユニットを履修している学生全員に対し、結果報告書を発行します。

ユニット1と2のみを履修中の学生は、学校を介して結果報告書を受け取ります。この報告書にはすべてのユニット1と2が記載され、各ユニットの結果について、合格の「S」または不合格の「N」が示されます。

学校でも独自の報告書を発行して、学生の学業成果水準に関する詳細な情報を提供することができます。

ユニット3と4の最終結果は、VCAAの結果報告書により報告されます。これは、12月に直接郵送で学生に送られます。

結果報告書には以下の内容が記述されています。

- 学科のユニットを満足いく結果で修了したかどうか(「S」は合格、「N」は不合格)
- 校内評価、試験結果、および学科の総合評価。これは、特定の学科を履修しているその他の学生全員との相対評価として0から50までの段階で示されるスコアです。
- 学生にVCE資格が授与されたかどうか

GATは別個に報告されます。結果報告書では、学生がGATを受験したかどうか、欠席した場合はその欠席が認められたかどうか記載されます。

VCE VET ユニートを修了した学生の場合、これらの結果は結果報告書に示され、学生がVCE VET プログラムを修了している場合、VCEに追加して別個の証書を受け取ります。学生がVCE VET プログラムの学科スコアの評価を受けている場合、そのスコアは、VCE学科の成績と一緒に結果報告書に記載されます。

学生が別の国で高校を卒業している場合はどうなりますか？

VCE 取得を希望する一部の学生は、すでに別の国で12年生またはそれ以上の同等資格を持っています。これらの学生は、他国で修了した同等資格認定をVCAAに申請することができます。

VCE学科の認定および相当資格一覧に関する詳細は、VCAAのStudents Records and Results Unit (学生記録と結果ユニット)に電話で要請できます((03) 9651 4402)。自分が相当資格を有すると思う学生は、学校を通じて照会してもらう必要があります。

この情報は、時折変更される場合があります。学校では、評価と大学/専門学校入学の要件に関する最新の詳細情報を常に備えています。

詳細情報はどこで入手できますか？

VCEに関する情報を求める場合、まず学校に照会します。学校の11年生と12年生担当の教師、およびVCEコーディネーターは、ほとんどの質問に答え、学生が学科を選択する手助けができます。

毎年VCAAでは、10年生を対象に*Where to Now?*(どこに進学しますか?)という案内書を発行しています。この案内書には、VCEに関する最新情報と翌年に実施されるあらゆる変更が記載されています。

VCEに関する詳細情報については、Victorian Curriculum and Assessment Authority (VCAA)情報担当官まで電話でお問い合わせください。電話番号:9651 4544または9651 4328(メルボルンからかける場合) 1800 134 197 (地方からかける場合)

進学先選択に関する情報については、VTAC情報担当官まで電話(1300 364 133)でお問い合わせください。

VCAL

VCAL (the Victorian Certificate of Applied Learning) に関する詳細については、ここ(<http://www.vcaa.vic.edu.au/vcal>)をクリックしてください。

VET in Schools

VET in Schoolsは、Vocational Education and Training in Schools (学校での職業教育と訓練)を意味します。VET in Schools プログラムでは、学校、訓練機関そして業界が協力し、学生の就職と継続した訓練に向けて準備を行います。

大多数のセカンダリ・スクールでは、VCEとVCALの単位として認められ、全国的に認識される職業資格となるVET in Schoolsプログラムを実施しています。

VET in Schoolsプログラムは、以下の目的で構成されています。

- 高校卒業資格と同時に職業資格も提供する
- 多くの若者にやる気と関心を持たせるコースを提供する
- 高校生により広い機会と進路を提供する
- 学校と業界と訓練機関を連結させる
- 業界のニーズを満たす支援をする
- 将来の職場に対して若者を準備させる

詳細については、学校のVETまたはVCE/VCALコーディネーターに相談してください。

School Based New Apprenticeship (学校ベースの新規見習い制度) とは？

VCEまたはVCALの単位となるその他の職業訓練には、School Based New Apprenticeship (SBNA) を介しての訓練があります。学校ベースの新規見習い制度を受けるには、有給の仕事を持ち、Office of Training and Tertiary Education (OTTE)に登録されている訓練の契約に署名しなければなりません。

VCEまたはVCALプログラムは、パートタイムの仕事および職業訓練と両立させることとなります。したがって、VCEとVCALは3つの部分から構成されます。

- 学校で履修するVCE またはVCAL学科
- TAFE機関などで受ける職業訓練
- 訓練を受けている業界でのパートタイムの有給の仕事

VCEまたはVCALの一環としてVCAAで承認された学校ベースの新規見習い制度を受けられる業界は、現在12あります。

学生が受けるSBNA資格は、VCE VET プログラムと同様に、VCE修了のための単位として認識されます。つまり、ユニット1～4の単位が授与されます。SBNAプログラムでは、VCE VET プログラムと同様に、ENTERのスコアも与えられます。

VCALに登録している学生の場合、その学生のSBNAプログラムは、高校卒業し書くの単位の一部として認識されます。VCALプログラムでどのようにSBNAプログラムの単位が認識されるかについては、学校に確認する必要があります。

SBNAを開始する方法に関する詳細については、VCEまたはVCALコーディネーターに相談する必要があります。

作成者:

Department of Education, Employment and Training (教育、訓練省)

および

Victorian Curriculum and Assessment Authority (ビクトリア州カリキュラムおよび評価機関)



Department of
Education & Training

VICTORIAN CURRICULUM AND ASSESSMENT AUTHORITY

